

議会だより あまぐさ

No.187

平成23年8月1日

発行：愛知県大口町議会



大口町は、平成24年に町制50周年を迎えます



大口町制50周年

昔も現在も未来もずっと
愛があふれる みんなの大口

6月定例会

特集 災害ボラ活動拠点を訪問 2

(一般質問) 簡易消火栓の移設は町でできないか 10

(一般質問) **放課後児童クラブ**
4年生以上も対象にして 12

新 議員に抱負を聞く 13



議長・副議長

災害派遣ボランティア 活動拠点を激励

正副議長は6月18日(土)・19日(日)の両日、町長、社会福祉協議会長らとともに、岩手県遠野市で行われている大口町災害派遣ボランティアの活動拠点「大口絆つなくネット」を訪問しました。

岩手県遠野市



大口絆つなくネットのみなさん

今回私たちが訪問した目的は、支援活動拠点の確認及び支援活動の状況把握、被災地の状況視察、さらにはその支援で頑張る職員やボランティアの方への激励、そして、寝食でお世話になっている遠野市の方々へのお礼でした。

現地ではレンタカーを利用し、陸前高田市、釜石市、大槌町の被災状況復旧状況を確認しました。被災地の映像は何度もテレビ等で目にしています。

だが、実際に瓦礫の山を目の当たりにすると、津波の脅威、何も抗うことのできない人間の無力感を感じざるを得ませんでした。

そんな中でも、ボランティアの皆さんは一心に作業をしておられ、頭が下がる思いがしましたし、東北を支えようとするその姿に、明日への復興の光が見えたことも事実であります。

社会福祉協議会や町の職員が、この6月1日から始まった支援活動を通して体験したことを、今後の大口町の防災計画や、有事の際のボランティア体制に生かしてこそ意味があります。またそのことが、このたびの大震災を教訓と受けとめて、このような災害に遭っても被害を最小限にとどめる対処を学び取ることが、被災された皆様への供養にもつながるのではないしょうか。

6月定例会は、2日から16日までの15日間の会期で開かれました。税条例の改正、一般会計補正予算など9議案が提出され、いずれの議案も全員賛成で可決しました。一般質問は7人の議員がしました。

(議長 倉知敏美)



大槌町の被災現場＝5月7日撮影

23年度一般会計補正予算 982万円を増額

■予算の組み替えが中心

一般会計982万円の増額と特別会計417万円の減額補正予算は、4月の人事異動による予算の組み替えと、共済組合への負担金率の減少による職員給与費の増減が、その多くを占めています。そのほかの補正予算の内容は「質疑あれこれ」のコーナーで紹介します。

■基金条列の廃止

条例関係は、フレンドシップ継承事業基金の設置及び管理に関する条例の廃止と、税条例の一部改正がありました。

フレンドシップ基金は、愛知万博の運営収支余剰金を平成19年度から5年間で、市町村が行う国際交流事業の経費として交付されたものが原資です。

この基金の残高が平成22年度の事業でなくなったので、この基金条例を廃止するものです。

■震災被災者を救済

税条例の改正は、東日本大震災で被災した人を税金面で救済するための改正で、改正は次の2点です。

▽住宅や家財等の損失を平成22年の総所得金額から雑損控除できる（通常は災害と同じ年なので平成23年）。

▽住宅借入金等特別税額控除を受けていた住宅に住めなくなった場合も残りの控除対象期間を税額控除できる。

この改正は、既に確定申告を終えてしまった方も対象になります。

■5月の臨時会から

5月11日の臨時議会で、東日本大震災の被災者支援事業として105万円を盛り込んだ補正予算を可決しました。

この予算は、大口町社会福祉協議会が岩手県遠野市で行うボランティアの活動拠点を支援するため、町職員の派遣旅費90万円、現地での燃料代15万円を組んだものです。

■江口氏を再任同意

固定資産評価審査委員、江口義輝氏（御供所）の再任を求める議案に、議会は同意しました。

江口氏は平成23年9月30日に任期満了となるため、議会の同意が求められたものです。



地震体験車「なまず号」で震度6弱を体験。先生に言われたとおり、机の下に隠れて頭をおおう園児たち＝5月10日、中保育園

質疑あれこれ

6月議会の議案の中から、主な質疑を要約してお知らせします。

国際交流は継続

問 大口町フレンドシップ継承事業基金の条例を廃止する。基金設立に至った経緯と、廃止の理由は何か。

答 この基金は、あいち万博の「1市町村1国フレンドシップ事業」の理念を継承・発展させ、市町村が行う国際交流事業



国際交流事業で田植えを体験したナイジェリアの人たち
=6月19日、「河北エコ・リサイクルの会」が主催

を定着させるため、万博の収支残から交付されたもの。大口町は1196万8000円の交付を受けた。

条例では基金の事業対象年度は、平成19年度から23年度までとされていたが、22年度内に基金を使ってしまったため、この条例を廃止する。

なお、国際交流事業自体は、特別会計に予算を移して継続していく。

50周年事業は何を

問 50周年記念事業で啓発用旗を作成する。具体的な事業内容は決まってきたか。

答 具体的な事業は決まっていない。7月号の広報で50周年記念事業の推進委員を募集して、事業を検討していく。

今回の補正予算は、今年1月に募集した50周年記念事業のキャッチフレーズとロゴマークを啓発

する「のぼり旗」「卓上旗」の作成が主なもの。

倍以上の給与補正

問 当初予算で1500万円だった福祉医療費の職員給与費が、今回の補正で1700万円追加されている。

倍以上の予算を増額する理由は何か。

答 当初予算の職員給与費は、1月時点での職員体制で組んでいる。今回の増加は、4月1日の人事異動で福祉医療費の予算科目に、2人分が増員になったためである。

問 予め人事異動を推測して予算を立てることはできないのか。

答 推測して予算を立てても、結果的にズレは生じる。一部でもズレがあれば、やはり補正予算を組むことになる。

消防団員の退職金



女性団員も小型ポンプ操法大会に出場

問 消防団員の退職報償金は、なぜ6月議会の補正予算になるのか。年度末に退団なら、もっと早く支払うことはできないのか。

答 団員の退職人数が確定してからだと、6月の補正予算になる。過去には見込みで当初予算を立てていたこともあるが、結局、毎年補正をしなければならなかった。そのため近年では、退職人数が確定してから予算を計上している。
団員にはその旨伝えてある。

橋名板が19枚盗難



新田（あらた）橋の欄干に残った橋名板の台座。県管理分を合わせると、大口町内で7橋が「名無しの権兵衛」橋に？

問 橋の名前を記した橋名板が盗難に遭ったため、新たに作り付ける費用として110万円計上する。当初予算50万円との兼ね合いはどうなっているか。

答 当初予算の50万円は、当て逃げなどで橋が危険な状態になった場合の緊急処置的な予算。そのため、この50万円は使わな

い。110万円の補正は、橋名板19枚を復旧するための予算である。

設置する際はネジ山をつぶすなど、盗難に遭わないよう工夫する。

問 金属製だから盗まれる。別の素材は考えられないか。

答 一度検討してみる。

コミュニティ助成金

問 財団法人自治総合センターからもらえるコミュニティ助成事業助成金490万円は、どういう事業が対象になるのか。

答 この助成金は、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることが目的としている。

今年度は上小口区と中小口区を対象に、アルミ製のやぐら、テント、地デジ対応テレビなどを予定している。

※今年度は上小口区のみ採択となりました。



中央公民館南側の保管庫

PCB保管庫を新築

PCB（ポリ塩化ビフェニル）
電気機器の絶縁油、熱交換機器の熱媒体などに広く使われたが、生体に蓄積される有害物質のため現在使用が禁止されている。

問 PCB保管庫新築工事など、これに関連する予算の説明を。

答 補正額360万円の内訳は①PCB含有量の測定②機器の移設③保管庫の新築工事である。

①は、中央公民館南側の保管庫で既に保管しているPCB含有機器の含有量を調査する費用。規定値以上なら日本環境安全事業（株）で、規定値未滿なら産廃業者で処分することになる。

②は、大口中学校、旧北小学校に一時的に保管

してあるPCB含有機器（変圧器・コンデンサー）を新築する保管庫に移設する費用。

③は、既存保管庫の隣に保管庫を新築する費用。

問 保管庫の耐震・耐火基準は。

答 保管庫には、そこまでの基準は定められていない。

地震等でPCBが破損し、漏れることのないように、保管するときは配列など積み重ねに注意する。

土日操業の休日保育

問 自動車関連業界の土日操業で、小学校の運動会などはどうなるのか。保育園や放課後児童クラブは開設するのか。

答 学校行事の日程変更は考えていない。

保育園・放課後児童クラブは、土日開設する方向で検討している。

※7月から9月まで実施

土日保育等の実施要件

- 対象者は、電力需給対策で就業日が変更になった家庭の児童に限定
- この休日保育は平日保育の振替なので、木・金曜日が休日なら、その日は家庭での保育が条件
- 申し込み時に、土日操業の旨を明記した就労証明書の提出が必要

ここが聞きたい!

一般質問

町政を問う

6月定例会では
7人が一般質問

不育症治療に公費支援を

部長 国の動向・治療の確立を注視



柘植 満

一般質問

柘植 満

柘植

妊娠しても流産を繰り返す不育症は、検査や治療の内容によって保険が適用外だ。

検査や治療で85%もの人が出産できると言われているが、費用が高額で、治療を続けることが困難になっている。

①少子化対策の観点から、公費による経済的支援を。

②不育症検査の受診を促進させる情報提供を。

③相談窓口の設置は。

健康福祉部長

①不育症の病態は多様で、さらに病態ごとの治療方針が今のところ一定していない。胎児異常が重なっただけの偶発的な症例も、流産の原因になる。このような状況から、国の動向、治療方法の確立を注視していきたい。

②町のホームページ等に掲載し、周知を図る。

③保健センターが相談窓口。専門的な相談は、専門医を紹介したい。

災害時の速やかな対応に

被災者支援システムの導入を

部長 使い勝手を比較する

柘植

東日本大震災を教訓に、災害対策の見直しを行うことが必要。

①避難所となる学校施設の防災機能の向上が求められる。その考えはあるか。

②文科省・国交省等の補助金が活用できる。体育館にテレビを置いたり、食料等を保管する備蓄倉庫を設置したりするなど、避難所の機能が向上する取り組みは。

③大規模地震に備えて、行政機能を維持できるよう「事業継続計画」の策定を。

④災害時の危機管理に役立つ「被災者支援システム」の導入を。

地域協働部長

①行政がすべ

てを準備することは難しい。まずは避難所を開設する基本的な部分から整備を行っていきたい。

②今回の大震災を受け、防災体制を見直したい。防災の基本的な部分から再検討を行い、地域で助け合える環境づくりを進め、これに基づいて必要な資機材を整備していく。

③計画の重要性は認識している。今後、国が作成したマニュアル等を参考に、関係各課に、行動計画や具体的な復旧手順等をまとめた計画作成を依頼していく。

④日ごろ職員が使い慣れている「エクスセル」「ワード」などのソフトと使い勝手を比較して、検討したい。

高すぎる国保税を下げよ

部長 基金取り崩しで負担を軽減させた

江幡 国保加入者約3000世帯のうち613世帯が滞納になっている。経済情勢を鑑みると今年度の税率改正は時期尚早。さらに滞納世帯が増える可能性がある。

健康福祉部長 23年度の税率

調整基金の取り崩しで予算を組んでおり、低所得者の負担軽減を図っている。

改正は、後期高齢者医療支援金分が1人当たり2500円、介護納付金分が約2100円増額するために行ったもの。増額による不足の半分は、財政調整基金を取り崩している。

また、医療給付費の増加分は税率を改正せず、限度額の引き上げ、一般会計からの繰入金、財政

23年度以降も依然厳しい国保運営が続く。適正受診の啓発など医療費の抑制とともに、納税相談による収納率の向上、国からの交付金確保にも継続して努力したい。

また、医療給付費の増加分は税率を改正せず、限度額の引き上げ、一般会計からの繰入金、財政

23年度以降も依然厳しい国保運営が続く。適正受診の啓発など医療費の抑制とともに、納税相談による収納率の向上、国からの交付金確保にも継続して努力したい。

また、医療給付費の増加分は税率を改正せず、限度額の引き上げ、一般会計からの繰入金、財政

また、医療給付費の増加分は税率を改正せず、限度額の引き上げ、一般会計からの繰入金、財政

23年度以降も依然厳しい国保運営が続く。適正受診の啓発など医療費の抑制とともに、納税相談による収納率の向上、国からの交付金確保にも継続して努力したい。

また、医療給付費の増加分は税率を改正せず、限度額の引き上げ、一般会計からの繰入金、財政



江幡満世志

福祉避難所の充実を

部長 何が必要かを再度見直したい

江幡

災害時における要援護者のための避難施設「福祉避難所」の一つとして、ハートフル大口と協定を締結している。しかし、ハートフル大口には宿泊設備がない。施設に介護用ベッドの用意を。また、避難所でも簡易ベッドや車いすなどの充実を。

地域協働部長

ハートフル大口は身体・知的・精神の3障がい者の通所施設なので、ベッド等の宿泊設備はない。施設の指導員が対応すれば安心できるということ、協定をお願いしている。

行政ですべてを用意することは難しい。必要な資機材はそれぞれの家庭で用意してもらいたい。被災地支援の取り組みをもとに、再度見直したい。

江幡

現在は三つの施設と協定を結んでいる。しかし、これだけでは収容しきれない。一期一会荘など他の施設にも協定先を増やしてはどうか。

地域協働部長

今後の見直し

の中で、要援護者の避難先として考えていきたい。



白布で間仕切りされた避難所＝大槌高等学校体育館



吉田 正

介護保険サービス

軽度者を切り捨てるな

部長 改正後にそうなるとは思わない

吉田 国は、要支援・と認定された人の介護サービスを一歩、介護予防・日常生活支援総合事業に置き換えられるようにしようとしている。この総合事業のサービス内容は自治体任せで、サービスの低下が心配される。そのようにならないようすべきではないか。

介護予防・日常生活支援総合事業
介護予防サービスや配食・見守りといった日常生活支援サービスを総合的に実施できる事業。事業の導入は市町村の判断に委ねられる。

健康福祉部長

平成23年2月

に開催された全国介護保険担当課長会議の資料に、介護予防・日常生活支援総合事業の制度概要が示されたが、要支援の人がこれまで受けていたサービスを受けられなくなるとは考えていない。引き続き制度内容の把握に努め、介護保険事業計画の策定の中で検討していきたい。

全学年35人学級の実現を

町長 町独自に対応することは考えていない

吉田 中学校は、1年生、小学校は、

1、2年生が35人学級を実施している。

先生が一人ひとりの子どもたちの目を見ながら授業ができるには、子ども

の数が少ない方が教えやすいし、教えがいもある。決して競争によって学力が向上していくとは思えない。そういった意味から、小中学校とも全学年35人学級にならないか。

町長

数が少なければ効果も上がると

思うが、すべて今の競争を否定するという考え方はないので、町独自に対応することは考えていない。

吉田 県に対して全学年に広げてほしいという要請は町として

できないか。

教育長

35人と40人を比較したとき

には、当然担任一人当たりの子どもへの手をかける時間が増える。現場の指導で不備が生じるかもしれない状況にある。



通学路に防犯の監視カメラを

部長 地区のパトロール隊で犯罪抑止を

宮田

五条川の桜に取り付けられた「ぼんぼり」が割られた。また、国道41号をくぐるトンネルは見通しが悪く、時々いたずらが発生する。先月もガラス瓶が十数個割られていた。監視カメラを設置して、事件を抑止せよ。

地域協働部長

映像を記録し

ても、その場で取り締まることはできない。犯人捜しより、このような状況をにつくらない社会を目指すべきだ。

町内には児童の下校時間に合わせて下校時パトロール隊、行政区には、



宮田和美

1団体以上のパトロール隊が組織されているので、犯罪などの情報を迅速に伝え、犯罪抑止につなげたい。



国道41号を横断するトンネル。車が通ることはないので交通事故の心配はないが、人通りが少ないので大人でも1人はちょっと不安

その他の質問

グラウンドや公園に剪定枝のチップを。

実験を行い、一定の効果を確認された。火災等の危険性なども検討し、利用していきたい。

ニツ屋公園

汲み取りトイレを水洗に

部長 下水道整備計画の中で検討したい

宮田

ニツ屋公園の隣に、おちよぼ稲荷がある。年末年始には近隣市町からも大勢の方がお参りをされる。

おちよぼ稲荷にはトイレがないので、隣接するニツ屋公園のトイレを使うことになるが、いまだに汲み取り式だ。一日も早く水洗トイレにできないか。

建設部長

下水道管が前面道路まで来ていないので、およそ80メートルもの距離を延長しなければならず、多額の費用がかかる。

仮に接続するとしても区域外流入となるため、他の下水道整備計画にあわせて整備を考えたい。



躊躇なく、使用できますか？

団塊世代中心の新組織を 部長 地域の実情に合わせて考えたい



齊木 一三

齊木 昨今は消防団員のなり手が少なく、地区の自主防災組織の役割がますます重要になってきている。しかし、地区の役員が自主防災組織の役員を兼務しているケースが多く、単年度で交代してしまっている。団塊の世代が退職を迎え、第二の人生を送っている。地元の消防団を補佐し、自主防災会組織においても中心的役割を果たし、かつ継続的に務めてもらえるような、新たな組織を立ち上げる考えはないか。



地域協働部長

団塊の世代の

方は、地域の安心・安全のため、余野地区の余防隊や、下小口地区の親話会のような活動をされていたり、地区の役員で結成される自主防災会の委員に加わったりしている。複数年活動してもらえ、組織の仕組みづくりは行政主導の組織ではなく、地区の実情に合った体制を、地域と一緒に考えていきたい。

その他の質問

放置自転車の通報は、どの課に？

放置場所によって異なっていたが、今後は受付窓口を建設農政課に一本化する。

簡易消火栓の移設は町で 部長 各行政区で整備を

齊木

各地区に設置されている簡易消火栓を移設する場合には、多額の費用がかかる。この費用を地区に交付される一括交付金で賄うことは、地区にとって大変な負担である。

地域協働部長

以前は補助金

として、町が3分の2を負担していた。現在は補助金を一本化し、行政区に、その権限と財源を移譲している。住民主体による取り組みを目指しているので、各行政区で優先順位を判断して、必要な整備を行うしてほしい。



民地内にある簡易消火栓

改善要望は実現しているか

部長 63件中、15件は実現

土 保護者から出される通学路危険

箇所改善要望は、どのように町へ伝えられているか。

また、過去3年間に改善された要望は何件あるのか。

生涯教育部長 P T A の役員

が精査・集約したものが、各学校としての要望書となる。この要望書が学校教育課に提出されると、

学校教育課では現地確認をしながら、それぞれの所管部署に要望事項を送付している。

要望件数63件のうち実

現したものは、15件である。

土 そのうち、通学路の安全確保は、

ための道路整備事業は、何件でいくらだったか。

建設部長 20年度はゼロ、21年度

は1件で約4440万円。22年度も1件で約1460万円。

ガードパイプなどの道路維持管理事業も含めると、工事件数・金額とももっと多かった。



足元のところどころに白線の名残が...

土 改善要望には白線の引き直しが多かった。通学路だけでも白線を引き直すとする

と、いくら掛かるのか。

建設部長 外側線を引いて4メー

トル以上の車道幅が確保できる道路を原則としている。その基準で町道部分に限定すると、すべて引き直しを含めて、工事は約320万円になる。

土 「通学路であることが、はつきり分かる看板を設置してほしい」という要望も多かった。

地域内を見て回ったら、高さ2・5メートルぐらいのポールに、「通学路」と書かれた直径30センチ

生涯教育部長 「通学路」の

看板については、特に車両などに認識させる必要がある場所に設置しており、今後必要な場所であれば整備していく。

飛び出し注意などの看板についても、必要な場所に設置を検討していく。

くらの鉄板のものが多かった。

設置後、相当の年数が経過しているらしく、色もあせ、ポールもさびていた。目につきやすい看板に替えることはできないか。



土田 進



ペンキが薄れてしまってよく見えないが「通学路」と書いてあるようだ

休日保育の実施に向けて

部長 既に申込みを受け付けている



岡 孝夫

岡 一般質問の通告後、委員会協議会において、輪番制に伴う休日保育の対応方針が示された。まずは迅速な対応に感謝する。

①保護者への通知等の日程は。

②放課後児童クラブの開設は午前8時30分から。もっと早い時間から開設できないか。

健康福祉部長 ①既に

日までを期限として、申込書を受け付けている。

②職員は時間前には来ているので、若干のことは対応可能。現状、8時半で対応できている。



児童と園児がいっしょに昼食。休日保育が始まりました。
=7月3日 中保育園にて

岡 今回のニーズ調査で、元々土日に働いている人の保育ニーズも把握できたのでは。将来的に、休日保育を行うかどうか必要性と課題を整理し、今後検討していくことが必要ではないか。

健康福祉部長 今回の

は、児童クラブについては日曜だけが1人、土日が14人。保育園は、土曜日だけが4人、日曜日だけはゼロ、土日が25人。

この先の検討事項として、この数字が妥当かどうかまでは判断できないが、認識は生まれたと思っている。

その他の質問

正午の役場サイレンのポリウムは下げられないか。

ポリウムは下げられないが、時間の短縮は可能。

放課後児童クラブ

4年生以上も対象に

部長 ニーズの調査は検討

岡 放課後児童クラブは小学1~3年生が対象だが、4年生以上も対象としている自治体もある。

健康福祉部長 ①調査はして

①大口町でもニーズはあると思う。調査等は行ったことはあるか。
②4年生以上も対象にしては。

②現状、学年が上がるにつれ、利用者は減少傾向にある。原則1~3年生までだが、健全育成指導を要する児童については、定員に余裕がある限り利用可能。

③早朝・延長保育を利用した場合の保育園の開園時間と比較すると、放課後児童クラブの開設時間は短い。
今年度に開設時間の拡大などを見直す計画があるようだが、その概要は。

③現状の運営に問題があるとは認識していないが、行政経営計画書で掲げたとおり、検討に取り組んでいきたい。



江幡満世志
(1 番議席)

①人事を尽くして天命を待つ
気力・知力・体力のすべて
をもって事に当たる。結果
はついてくると信じています。

②命と暮らしを守る町づくりを信条に、防災対策、
福祉充実、経済対策と多くの課題に取り組み、
安心・安全で豊かな大口町を目指します。



伊藤 浩
(4 番議席)

①我以外皆我師也
(われいがい みなわがしなり)
剣豪「宮本武蔵」の言葉で、
自分以外のすべてが自分の
先生であるという教え。常
に学ぶ姿勢を忘れず、目標
達成に向け努力し、日々成
長したい。

②「この地に住んで本当に良かった」と思えるま
ちづくりを目標に、皆様のご意見やご要望に
耳を傾け問題解決に当たります。また「プラス
思考と一歩前進」をモットーに、教育（人材育
成）・福祉・環境等を中心に、地域や大口町の
ため、力いっぱい頑張っていきたいと思ひます。

新議員に抱負を聞きました

4月の選挙で、新たに議員となった方を紹介します。
質問項目は次の通り。

- ①好きな言葉とその理由
- ②議員になろうと思った理由、これから4年間ど
んなことに力を入れたいか



丹羽 孝
(7 番議席)

①一期一会
一生に一度しか会えない人
かもしれない・・・
今こそ、誠心誠意、最高の
自分で向き合っておけば、
再び縁があって出会うかも
しれない。

②区長やまちづくりを考える会委員などで頂いた
地域や時の課題の解決に真剣に取り組みます。
皆様のご指導を頂き、地域の活力があり、ふれ
あいと思いやりのある大口町を未来に届けるた
め誠心誠意頑張りますので、今後ともよろしく
お願いします。



前田新生
(5 番議席)

①恕(じょ)
「それは恕か、己の欲せざ
るところは、人に施すこと
勿れ。」
今の時代こそ、孔子のこの
言葉を大切にしたい。

②住みよいまちづくりのため、働きたいとの思い。
安全・安心な生活が送れる環境の整備と、未来
を担う子どもたちの教育の充実を重点に頑張っ
ていきますので、よろしくお祈いします。

①ありがとう

人の温もりが感じられる言
葉です。いつも素直に感謝
の気持ちを言えるように、た
った5文字ですが常に心の
中に持っていたい。



大島保憲
(6 番議席)

②生まれ育った町をより住みやすく、地域の声
を町政に伝える橋渡しがしたいと思った。大口町
をもっともっと良い町にするため、慎重かつ大
胆に問題の解決に全力を傾注していきます。未
熟ではありますが有言実行がんばります。よろ
しくお祈いします。

まちの 元気者

生きがいは畑仕事

今でも自転車に乗って畑に出かけられるという元気な仲良しおばあさん大竹春子さんと仙田清子さんを紹介します。

▼大竹春子さん(87歳、河北)



仙田清子さん(86歳、河北)▲

「まず外へ出ること。家の中に閉じこもっておってはあかん。外へ出て体を動かすこと」「何でもええに楽しみを見つけて、目標を持つこと」「皆と話をすること」

お元気の秘訣は何ですかの質問に、次々と日頃の心がけを話された大竹さんと仙田さん。お二人とも今でも自転車に乗られ、畑やお使い、グランドゴルフにも出掛けられます。地域のバス旅行があると、お二人一緒に仲良く参加されます。

「どうせ生きているなら、楽しく生きたい」と言われた言葉がとても印象的で、今は「朝飯前の畑仕事」が楽しみの一つだそうです。

取材を終えて

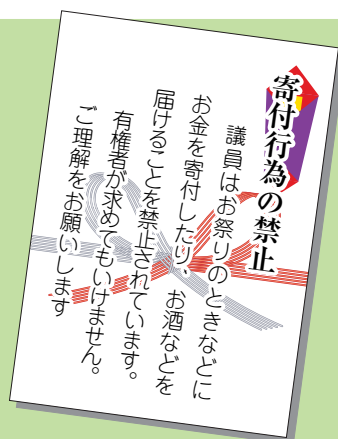
現代の我々は楽に慣れ、自動車がなくては生活ができません。しかし今回のインタビューで、自然に感謝して、体を動かす喜びを感じることに、前向きの気持ちを持つことの大切さを、今更ながら教えられました。

少しでもお手本にしていきたいと感じました。(宮田和美)

表紙の写真

町内4保育園が合同で田植えを行いました。こんな大きな場所で“泥遊び”ができることあって最初は戸惑い気味の子どもたちでしたが、教えてもらった通り、上手に苗を植えました＝6月13日、役場前の田んぼ

発行責任者 倉知敏美
議長 仙田進
議会広報常任委員会 委員長 宮田孝
副委員長 丹羽孝
委員 吉田正
岡田孝
土田進



会議録をご覧ください

町議会の会議録をインターネットで公開しています。町のホームページ内に掲載していますので、ぜひご覧ください。

大口町議会

検索

皆さん議会傍聴に 来てください

9月定例会予定

- 9月 1日(木) 提案説明
- 9月 6日(火) 質疑
- 9月 7日(水) 質疑・委員会付託
- 9月 9日(金) 総務建設常任委員会
- 9月12日(月) 文教福祉常任委員会
- 9月14日(水) 一般質問
- 9月15日(木) 一般質問
- 9月20日(火) 討論・採決

手続き簡単
役場3階で住所と名前を書きだけ